

愛知の土地改良

第184号
平成27年9月1日



Land improvement of Aichi

□ 第1回理事会開催	2
□ 第1回支会長会議開催	2
□ 第1回参与会開催	2
□ 叙 紋	3
□ 愛知県農地水多面的機能推進協議会幹事会開催	3
□ 愛知県農地水多面的機能推進協議会通常総会開催	4
□ 農業農村整備の集い	5
□ 平成28年度農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施	6
□ 平成27年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体(35期生~39期生)打合せ会議開催	7
□ 水土里情報システム操作研修会の開催	8
□ 水土総合強化推進事業情報	8
□ 平成27年度あいちの農業用水展開催	9
□ 平成27年度水土里ネットレポーター	9



みどり
水土里ネット
新農村創造

発行／愛知県土地改良事業団体連合会
名古屋市西区栄生一丁目18番25号
電話(052)551-3611(代)



第1回理事会開催

8月5日、第1回理事会を、愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。理事会は始めに神谷金衛会長の挨拶、続いて、参与としてご臨席の県幹部の方々を代表し、山本信介愛知県農林基盤局長より挨拶をいただき、議事に入った。提出した下記議案は、いずれも原案どおり承認、可決された。



記

提出議案

- 第1号議案 平成26年度事業報告並びに一般会計収支決算及び財産目録の承認について
- 第2号議案 愛知県土地改良事業団体連合会事務局規程の一部変更について
- 第3号議案 愛知県土地改良事業団体連合会職員の給与に関する規程の一部変更について
- 第4号議案 愛知県土地改良事業団体連合会会計規程の一部変更について
- 第5号議案 愛知県土地改良事業団体連合会公印管理規程の一部変更について
- 第6号議案 東海農政局検査指摘事項に関する改善措置状況等の報告について
- その他
 - (1)短期(5カ年)事業計画について
 - (2)第38回全国土地改良大会－青森大会－の開催について

第1回支会長会議開催

7月15日、第1回の支会長会議を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。会議には神谷金衛会長(岡崎支会長)、長瀬保名古屋支会長、恒川宣彦一宮副支会長、澤田丸四郎半田支会長、川上万二郎幡豆支会長、三浦孝司豊田支会

長、小久保三夫豊橋支会長が出席された。会議は始め神谷会長より挨拶がなされ、続いて、神谷会長を座長に選任し、提出した事項については、それぞれ、資料に基づき説明が行われた後、活発な意見交換が行われた。

記

提出議案

- (1)理事会提出議案について
- (2)平成27年度第1回理事会開催日程について

第1回参与会開催

参与会は定款第31条「この会の業務を適切に行うため必要があるときは、参与若干人を置くことができる。」に基づき年数回開催し、諮問に応じていただいているもので、今年度、第1回目の参与会を、7月10日愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。

参与会は青木章雄専務理事の挨拶の後、参与を

代表し、山本信介愛知県農林基盤局長より挨拶をいただき、議事に入った。提出した議案は8月5日開催の理事会に提出する平成26年度事業報告並びに一般会計収支決算等、それに関連した本会の短期事業計画、受託状況も併せて協議された。また、農業農村整備の集いおよび要請活動について報告をした。

叙勲

政府は平成27年4月29日付で平成27年春の叙勲の受章者を発表した。

本会会員からは4名の方々が受章の栄に浴されました。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げ、益々ご健闘でご活躍されますようお祈りいたします。

旭日双光章 旭日双光章 旭日单光章 旭日单光章



恒川 宣彦 氏

本会理事
宮田用水土地改良区理事長



齋藤 尚弘 氏

美浜町
土地改良区理事長



竹内 武士 氏

(前)知多市
土地改良区理事長



山内 隆一 氏

額田
土地改良区理事長

愛知県農地水多面的機能推進協議会幹事会開催

6月16日、愛知県土地改良会館6階第1研修室において「愛知県農地水多面的機能推進協議会幹事会」が開催された。

この協議会は、平成26年2月に愛知県並びに県内の農地・水保全管理支払交付金事業を実施している市町村及び関係土地改良区等64会員により設立され、平成26年度には新規会員の5会員(市町)が加わり推進活動を実施している。

平成26年度の協議会事業報告、収支決算報告に加え、平成27年度からの法制化(農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律)に伴い、多面的機能支払交付金実施要綱、実施要領が改正されたこと、愛知県における多面的機能支払の実施に関する基本方針(要綱基本方針)が改正されたことによる本協議会の規約及び諸規程並びに



挨拶を行う中村農地環境対策監

各交付金業務方法書の変更、平成27年度の協議会事業計画、収支予算を総会に諮るため開催したものである。

幹事会は、11幹事全員の参加のもと開催され、下記協議事項が審議され、全議案承認された。

記

第1号議案 平成27年度通常総会について

第2号議案 平成27年度通常総会付議事項について

【幹事:愛知県、小牧市、稻沢市、愛西市、常滑市、安城市、西尾市、豊田市、新城市、豊橋市、水土里ネット愛知】

愛知県農地水多面的機能推進協議会通常総会開催

愛知県農地水多面的機能推進協議会は、平成26年度から新たにスタートした「日本型直接支払制度」における多面的機能支払交付金事業による活動組織に対する支援体制の拡充・強化を目指して活動してきた。

通常総会は6月25日、愛知県土地改良会館において会員62団体が出席して開催した。総会の開催にあたり、愛知県農地水多面的機能推進協議会神谷金衛会長より「平成27年度からの法制化により、新しく要綱・要領が制定され、本事業を円滑に推進していくために、本協議会の役割がますます重要となってきた。また、地域の活動組織においても、多面的機能支払交付金事業を推進し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地、水路、農道等の地域資源の適切な保全管理の推進、自然環境の保全、良好な景観の形成等、農村環境の保全に積極的に取組んでいく必要がある。」と挨拶された。

この後、神谷会長を議長に、議事録署名者2名を選任し議事に入った。提出した下記議案について、まず、第1号議案から第5号議案まで一括上程され、監事の田原市長（代理 實井技監）より監査報告があり、5議案は、ともに可決・承認された。次に、第6号議案から第9号議案についても可決・決定された。



議長を務める神谷会長

最後に閉会のことばとして推進協議会副会長の山本信介愛知県農林基盤局長より「この事業は、前身の事業を含めて、開始から既に8年ほど経過し、地元にもかなり定着してきた。そのため、これまで硬いイメージが強かった土地改良事業が、ソフトなイメージへと変化してきたように思う。本県としても、土地改良事業のイメージアップ、そして事業推進のためにも、この多面的機能支払事業による取組の推進を、益々図っていく必要があるものと考えています。皆様方におかれましては、多面的機能支払事業が円滑に推進されることにより、美しく、活力のある愛知県の農業・農村が創り上げられますよう、更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。」と挨拶され通常総会を終了した。

記

提出議案

- 第1号議案 平成26年度事業報告承認について
- 第2号議案 平成26年度多面的機能支払交付金(農地維持支払)会計収支決算承認について
- 第3号議案 平成26年度多面的機能支払交付金(資源向上支払)会計収支決算承認について
- 第4号議案 平成26年度多面的機能支払推進交付金会計収支決算承認について
- 第5号議案 平成26年度多面的機能支払交付金に関する活動組織の事務の一部に係る会計収支決算承認について
- 第6号議案 愛知県農地水多面的機能推進協議会規約及び諸規程の改正について
- 第7号議案 多面的機能支払交付金に係る業務方法書の廃止及び推進交付金に係る業務方法書の改正について
- 第8号議案 平成27年度事業計画について
- 第9号議案 平成27年度多面的機能支払推進交付金会計収支予算について

農業農村整備の集い

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

6月29日、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サボーで全国水土里ネット主催による「農業農村整備の集い」が開催された。

この集いは、全国の土地改良関係者約700名が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に開催されたもので、本県からは、神谷金衛会長をはじめ、本会会員、愛知県より31名が参加した。

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長が、「政府においては、『農林水産業・地域の活力創造プラン』『国土強靭化基本計画』を策定し、種々の施策を展開している。また、地方においては、農業は地域の根幹をなす重要な基幹的な産業であり、農業・農村の振興は地方再生に極めて重要な柱ともいえる。政府並びに与党の皆様方にはこれまで大変



二階会長挨拶

なご努力を頂戴しており、引き続き一層の予算枠拡大に向けて、真剣なご対応を賜りますよう、全国の農業関係者の皆さんと共にお願いを申し上げる。」と挨拶された。

続いて、林芳正農林水産大臣から「最大限、予算確保に努める。」、稻田朋美政調会長からは、「土地改良を強力に推進する。」などの内容の祝辞がそれぞれから述べられた。

その後、事例発表では、本県の白木実夫鍋田土地改良区理事長が「農地防災は国土強靭化の礎」について発表され農地の防災対策などの重要性について訴えた。そのほか、秋田県大仙市の秋田県田沢疏水土地改良区、水土里ネット新潟の取り組みが紹介された。

また、国に対して安定的・計画的な農業農村整備事業の実施に十分な予算措置を講ずるよう求める要請事項が示され、あわせて全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会より農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切かつ継続的に發揮される予算措置の確保を求める要請事項についても示された。

集い終了後、採択された要請書により、全国水土里ネットは農林水産省始め関係省庁に要請活動を実施した。



林農林水産大臣祝辞



白木理事長の事例発表

平成28年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

6月29日午前中に、神谷会長、青木専務理事、白木代表監事により平成28年度農業農村整備事業に関する18項目の重点要請について、小林祐一農村振興局次長を始め農林水産省農村振興局

幹部職員に対し実施した。また、当日開催された「農業農村整備の集い」終了後においても、本県選出国会議員に対し要請活動を実施した。



小林次長へ要望説明



藤川参議院議員に要請書を手交

7月1日、神谷会長、青木専務理事により、水間史人東海農政局長始め局幹部職員に対し同様に要請活動を実施した。

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおりです。



東海農政局幹部の方々へ要請

要 請 書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本県は、古くから木曽川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業産出額は常に上位を維持する、全国でも有数の農業県となっております。

これら先人達が築き守ってこられた施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくことが私たちの責務もありますので、国営事業を着実に推進していただくと共に、これまで補完的な改築に留まってきた大規模水利施設や、水資源開発施設等につきましても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

一方で、本県は我が国最大規模のゼロメートル地帯を有する特殊な事情を抱えております。南海トラフで発生する大規模地震により、海岸堤防は沈下・崩壊し、津波到達前の浸水や津波による堤防流出による甚大な被害が想定されています。また、近年ゲリラ豪雨等も多発しております。そのため、防災・減災に資する農業用施設の耐震化・更新整備が喫緊の課題であります。また、農村における多面的機能の維持や、農業用水を利用した小水力発電等の再生可能エネルギーの導入など、農村資源の保全とその恵みを活用していく必要があります。

このような中、平成27年度の当初予算におきましては、農業競争力強化のための農地整備や国土強靭化のための耐震化対策・洪水被害防止対策については、対前年以上の額を確保していただきましたが、防災・減災対策に対する地域のニーズを十分満たしていません。そのため、平成28年度当初予算においては、これらの地域のニーズ並びに課題を十分に満たす規模の予算の確保が必要であります。

ページへ続く

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、**3つのテーマで合わせて18項目の重点要請を行いたい**と思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

重点要請18項目

I 國土強靭化に資する農業農村防災対策と力強い農業を支える農業生産基盤の整備について

- 1 農業農村整備事業の当初予算の充実強化について
- 2 農村地域防災減災事業の予算の拡大について
- 3 農山漁村地域整備交付金の予算の拡大について
- 4 海岸整備事業の促進について

II 暮らしを支える大規模水利施設の計画的な更新整備について

- 1 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 2 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 3 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 4 地域整備方向検討調査 矢作川沿岸地域の推進について
- 5 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 6 木曽川用水 濃尾第二施設における老朽化対策の実施について

III 地域ニーズに応じた攻めの農業農村整備事業の展開について

- 1 農地防災事業に係る土地改良法手続きの簡素化について
- 2 農村地域防災減災事業等による耐震対策の促進について
- 3 農地の集積・集約化に向けた農業基盤整備事業の促進について
- 4 特定農業用管水路等特別対策事業の促進について
- 5 多面的機能支払交付金による地域の協働活動の着実な促進について
- 6 発電施設の単独整備事業の創設について
- 7 農業水利施設の適切な維持管理に対する支援について
- 8 県営耐震対策一体型かんがい排水事業の創設について

平成27年度 土地改良施設維持管理適正化事業加入団体 (35期生～39期生) 打合せ会議 開催

5月14日、愛知県土地改良会館7階大会議室において平成27年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体打合せ会議を開催し、加入団体62団体84名の出席のもと次の事項の打合せを実施した。

- 1 土地改良施設維持管理適正化事業実施計画
 - (1)平成27年度加入土地改良施設維持管理適正化事業(39期生)の年度別実施状況調書
 - (2)平成27年度土地改良施設維持管理適正化事業実施計画調書
- 2 土地改良施設維持管理適正化事業事務手続き

3 注意事項

また、打合せ会議終了後、希望加入団体の個別案件の打合せを実施した。



適正化事業加入団体打合せ

水土里情報システム操作研修会の開催

《新システム研修》

水土里情報システムの運営については4年目を迎える、システムの速度改善についての要望が多い事によりシステム改良を行い、5月より新システムの本稼働を開始した。そのため本年度は、平成27年5月11日～20日に新システムの基本機能の操作を対象とする「水土里情報システム操作研修会」を開催した。

主な研修内容 ◎新システムの基本的な操作

主な研修項目は、認証、画面構成、表示パターン管理、計測、属性表示、塗り分け、ラベル表示、検索、メモの作成、印刷等

(参加団体:50団体 参加者:152人)

《愛知県職員新システム研修》

次に、平成27年5月18日～29日に、上記の新システムの基本操作説明に加えて、県事業情報の運用を行うための操作について愛知県職員を対象に研修会を開催した。

主な研修内容 ◎新システムの基本的な操作

◎県事業情報の運用を行う操作

新規地区作成及び継続地区更新作業における操作
(参加者:209人)

《背景図について》

◎オルソ画像

平成27年2月に更新画像を購入し、システム投入準備中。

◎住宅地図

オルソ画像と同時期に更新データを購入し、7月より利用可能。



水土里情報システムの説明

今後も、本システムを使って皆様の業務の効率化が図れるような内容の実務的な研修会を進めてまいります。

水土総合強化推進事業 情報

平成27年度愛知県管理円滑化事業推進委員会

5月27日、本会6階第1研修室において愛知県管理円滑化事業推進委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

1 平成26年度事業実績報告並びに収支決算について(土地改良施設の診断・管理指導及び

管理等に関する苦情・紛争等の対策)

2 平成27年度事業実施計画並びに収支予算について(土地改良施設の診断・管理指導及び管理等に関する苦情・紛争等の対策)

平成27年度愛知県換地等強化事業推進委員会

5月27日、本会6階第1研修室において愛知県換地等強化事業推進委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

1 平成26年度事業実績報告並びに収支決算に

ついて(土地改良換地等強化事業)

2 平成27年度事業実施計画並びに収支予算について(土地改良換地等強化事業関係)

3 遅延地区について

平成27年度連絡調整会議

6月11日、本会6階第1研修室において連絡調整会議を開催した。愛知県農地計画課、農地整備課及び各農林水産事務所建設課のアドバイザーに出席いただき、土地改良施設維持管理適正化事業(35～39期生)の年度別実施状況・実施計画、

平成27年度適正化事業実施計画及び平成28年度新規(40期生)事業実施要望等について協議し、土地改良施設の維持管理、事業の拡充強化について意見交換がされた。

平成27年度 あいちの農業用水展～水が育てる愛と知の風土～

愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で開催！

「水の週間」に因んで、8月1日に愛知県、水土里ネット愛知、水土里ネット愛知用水、(公財)愛知・豊川用水振興協会主催で、「水が育てる愛と知の風土」をテーマに「あいちの農業用水展」を愛・地球博記念公園(モリコロパーク)において開催した。

この「あいちの農業用水展」は、県内の農業用水の歴史と変遷等をパネルにより時代を追って紹介することにより、先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く一般に周知し、関心を高めてもらうことを目的として毎年開催している。

25回目の節目を迎えた今年度は、数多くのイベントが催された。地域市民交流センターの体験学習室では、本会の併催行事である第17回広報キャンペーン「あいちの農業・農村パネル展」を開催し、パネルに関するクイズや農業農村整備に関するカルタ大会やぬりえ、小水力発電の模型展



テープカット

示を行った。屋内広場では田んぼの生き物展示(約35種類の魚や水生昆虫などを展示)、燃料電池車MIRAIの展示、測量体験などを行った。

また、愛知用水の水源地域である長野県木曽町、王滝村との連携企画として、物産展及び森林体験コーナーが設けられ水源地との交流を目的としたPR活動が行われた。

会場は終日にぎわいが絶えることなく350人あまりの来場者があった。



カルタ大会



パネル展

平成27年度 水土里ネットレポーター

21世紀土地改良区創造運動の更なる浸透を図るため、地域の情報を発信していただく水土里レポーターが全国で活躍しています。平成27年度の本県のレポーターは、下記の水土里ネット職員



水土里ネット南陽

水土里ネット愛知用水

水土里ネット豊川総合用水

事務吏員

安達 直子

総務課長

早川 昌男

総務課課長補佐 平尾 博 (敬称略)

の方にそれぞれ委嘱しご協力いただいております。今後の地域からの情報発信についてよろしくお願ひいたします。



なお、全国から投稿された発信情報は、新・田舎人フォーラム(全国水土里ネットホームページ <http://www.inakajin.or.jp/jigyou/tabid/106/Default.aspx>)または農業農村整備情報総合センターのホームページ「NNニュース(http://www.aric.or.jp/03_book/nnnews/nnnews.htm)」に掲載されております。本県レポーターの発信情報も掲載されていますので是非ご覧ください。

平成27年8月19日現在の日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。
金利は金融情勢により変動します。
最新の金利は名古屋支店農林水産業農業食品第二課(TEL052-582-0745)にお問い合わせください。

区分	利率一覧(平成27年8月19日現在)				
	借入期間に かかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
県営補助残	0.85%	—	—	—	—
団体営補助残	0.70%	—	—	—	—
非補助	0.70%	—	—	—	—
災害復旧	—	0.35%	0.35%	0.65%	0.70%

研修会名	開催日	対象者
農業用排水機県営移管期成同盟会 事業視察研修会	9月15日～16日	同盟会会員役職員
水土里ネット事業視察研修会	10月6日～7日	事業実施会員役職員
小水力等発電導入技術力向上地方研修	11月中旬	協議会構成員の土地 改良区、県、市町村の職員
技術力向上事業研修会	12月1日～3日	市町村、水土里ネット職員
水土里ネット役職員研修	1月中旬	水土里ネット役職員

第14回

あいちの農業・農村フォトコンテスト 募集

愛知県の活力ある美しいむらづくりのための農業農村整備を推進し、すばらしき、あいちの農業・農村を広く一般に紹介するため、広報キャンペーンの一環として作品を募集します。

テーマ 「土地改良施設と歩む農業・農村」

- | | | |
|---|--------------|----------------|
| 賞 | 水土里のフォト大賞 | 1点(賞状、副賞3万円) |
| | 水土里のフォト優秀賞 | 2点(賞状、副賞1万5千円) |
| | 水土里のフォト入選 | 10点(賞状、副賞5千円) |
| | 多面的機能共同活動特別賞 | 3点以内(賞状、副賞1万円) |
| | 水土里のフォト参加賞 | 参加者全員(記念品) |



※詳細は、水土里ネット愛知ホームページ(<http://www.aichi-doren.or.jp/>)をご覧ください。

残暑お見舞申し上げます。

スドリ 水土里ネット愛知 会長 神谷 金衛

外役職員一同